

## 東京

### 金融サービス

#### 法務、コンプライアンス、リスク管理

金融サービス 法務・コンプライアンス・リスクチームは、次の分野のジュニアレベルから取締役レベルに至るまで、あらゆるレベルにおける人材紹介サービスを提供しています。

法務：バラリーガルから相談役に至る社内職務、およびデリバティブ取引担当弁護士や ISDA（国際スワップデリバティブ協会）マスター契約書類専門家といったプロフェッショナルとしての法律知識が求められるポジション。

コンプライアンス：証券、リテール／コマース・バンキング、保険、およびアセットマネジメント企業におけるコンプライアンスの全分野。

リスク管理：市場リスク、信用リスク、および定量的リスクに関わるポジション。

### 市場概況

#### 法務・コンプライアンス

東京における法務・コンプライアンスの雇用市場は、堅調な需要を満たす十分なスキルを備えたバイリンガルの法務・コンプライアンス分野のプロフェッショナルに事欠くというのが典型的な状況でした。ところが、この分野は 2009 年に世界金融危機の著しい影響を被ったため、両職務分野にわたる雇用は相対的に停滞し、それ以前に見受けられた採用レベルとの比較でも、それらの分野で経験を積んだ人材の需要は落ち込む結果となっています。法務、とりわけ ISDA マスター契約交渉分野での職種ははるかに少なくなっており、そのような雇用機会を求める求職者数は実際の雇用件数を大幅に上回る状況でした。

2009 年第 1 四半期に、シニアレベルのコンプライアンス求職者は人余りに直面し、大手の金融機関ではそのようなレベルのコンプライアンス・ポジションの空きが案外少なかったため、求職者は四半期の当初二期は特に厳しい雇用局面に見舞われました。このような状況に乗じたのは、設立したばかりの証券会社で、挑戦的な規制環境に対処する経験に富んだコンプライアンス人材の獲得を実現しました。

2009 年四半期の当初二期では、事業を立ち上げた証券会社を例外として、雇用はコンプライアンスの全般で極めて限定的なものとなりましたが、第 3 四半期はミドルレベルのコンプライアンス職種、特にマネー・ロンダリング対策や市場コンプライアンスといった分野での雇用が増えました。

#### リスク管理

リスク管理も市場の混乱を免れることはありませんでしたが、他の分野で見られた規模縮小レベルはこの分野でそれほど厳しい状況とはなっていません。市場リスクと信用リスクにまたがる人員数レベルは概ね維持されており、採用の主な理由は代替ポジションの補充となっています。この分野に流れ込む求職者は、東京での事業を閉鎖した金融機関に端を発しています。ところが、人員凍結措置により、そうした人材が新たなポジションへ移行するのは難を要する状況となりました。とりわけ、実際に活動している信用リスクの求職者は雇用件数を上回っており、需要を満たす資格要件を備えた信用リスクのスペシャリストに事欠いていたそれ以前の年とは対照的な状況となっています。

雇用分野で最も注目になる例外は、しっかりとした技術的知識、中でもエクイティに関する知識を身につけた市場リスクのスペシャリスト需要でした。2009 年のほぼ全般で、この分野では欠員職種が存在し、金融機関はジュニアからミドルレベルの人材を取り込もうとしのぎを削っていました。市場リスクにおけるシニアレベルの雇用は、2009 年にはほとんど見られませんでした。

# 東京

## 金融サービス 法務、コンプライアンス、リスク管理

### 報酬水準

2009年の総報酬パッケージはボーナスがごくわずかだったため下がったものの、全体としては2009年に法務、コンプライアンス、リスク管理の当分野全般で基本給が目立った変化はありませんでした。もっとも、場合によっては、雇用機会不足や競争激化のため、求職者が低めの基本給を受け入れるケースも出ています。このようなケースは特に、設立したての企業で見られました。大手銀行のような給与水準は提示できない場合でも、人材獲得に成功した事例がありました。

### 2010年の展望

コンプライアンス分野では、日本の規制環境に引き締めがかかる中、市場コンプライアンスや管理室機能を専門とするミドルレベルの人材に対する需要がおそらく出てくるものと思われます。法務に関しては、そうした業務のアウトソーシング緩和により社内の法務スペシャリスト数が最低限になる可能性があることから、人員数は増えています。信用リスクと市場リスクでは、2010年の新たな人員数を確保する中、今後も5年から7年の経験がある求職者が最も望まれる人材となるでしょう。

職種（経験年数）	経験年数（0 - 4年）		経験年数（4 - 7年）		経験年数（7年以上）	
	2009	2010	2009	2010	2009	2010
<b>法務</b>						
法務／総合弁護士	800 - 1600万円	<b>800 - 1600万円</b>	1600 - 2000万円	<b>1600 - 2000万円</b>	2000万円以上	<b>2000万円以上</b>
トランザクションロイヤー	800 - 1200万円	<b>800 - 1200万円</b>	1200 - 2000万円	<b>1200 - 2000万円</b>	2000万円以上	<b>2000万円以上</b>
ドキュメンテーションスペシャリスト	500 - 650万円	<b>500 - 650万円</b>	600 - 1200万円	<b>600 - 1200万円</b>	1000万円以上	<b>1000万円以上</b>
法務	500 - 650万円	<b>500 - 650万円</b>	600 - 1000万円	<b>600 - 1000万円</b>	1000万円以上	<b>1000万円以上</b>
<b>コンプライアンス</b>						
セントラルコンプライアンス	500 - 800万円	<b>500 - 800万円</b>	800 - 1600万円	<b>800 - 1600万円</b>	1600万円以上	<b>1600万円以上</b>
コントロールルームコンプライアンス	600 - 1000万円	<b>600 - 1000万円</b>	800 - 2000万円	<b>800 - 2000万円</b>	1800万円以上	<b>1600万円以上</b>
マーケットコンプライアンス	600 - 1000万円	<b>600 - 1000万円</b>	800 - 2000万円	<b>800 - 1600万円</b>	1800万円以上	<b>1600万円以上</b>
トレードサーベイランスコンプライアンス	600 - 900万円	<b>600 - 900万円</b>	800 - 1600万円	<b>800 - 1600万円</b>	1600万円以上	<b>1600万円以上</b>
<b>リスク</b>						
クレジットリスク	600 - 1000万円	<b>600 - 1000万円</b>	1000 - 1600万円	<b>1000 - 1600万円</b>	1600万円以上	<b>1600万円以上</b>
マーケットリスク	700 - 1100万円	<b>700 - 1100万円</b>	1000 - 1600万円	<b>1000 - 1600万円</b>	1600万円以上	<b>1600万円以上</b>

注：特に断りがない限り、表示額は諸手当、ボーナスを除く基本給です。